



佐世保ロータリークラブ 会長●中島 祥一 幹事●富永 雅弘
 事務所●佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
 例会場●佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181

平成 18 年 9 月 6 日

第 2,760 回例会

NO 9

《本日》会員数 83名(出席免除会員 24名)・出席 47名・免除者出席 12名・欠席 12名・ビジター 2名・出席率 79.60%

《前々回》会員数 83名(出席免除会員 20名)・出席 54名・メークアップ 9名

修正出席率 100.00%

会長挨拶

会長 中島 祥一 君

秋篠宮紀子様は午前8時27分、親王が誕生されました。おめでとうございます。

昨日ある人から面白い話を聞きました。ヨーロッパで今一番はやっている商品があるそうです。それは男用便器にハエを止まらせた(描いた)便器です。

オランダのスキポール空港の「男性用便器の清掃」からでした。壁や床におしっこをこぼす人が後を絶たず、清掃に掛かる費用は年間7億円にもなっていたそうです。

人は真っ白な便器にハエが止まっているとそれに向かって落とそうという行動をし、前に一歩踏み出して狙いをつけ小便をするそうで、掃除代を節約しようとしたアイデアです。(不思議なことに、 TENTウ虫とかアリではかわいそうと、外して小便をするそうです。)

7億の掃除代が全て浮いたかどうかは定かではありませんが、相当の効果があったといえます。他の公共施設にも進出しているそうです。朝日新聞の記事でした。

ロータリーは職業奉仕が原点と言われます。すばらしいアイデアがあったら是非教えてください。

例会記録

○国歌「君が代」

○ロータリーソング「奉仕の理想」

○ビジター

有田RC 酒井田正宏 君

佐世保南RC 圓田 治 君

幹事報告

幹事 富永 雅弘 君

1. ロータリーの友事務所

「ロータリーの友」英語版ご案内

1年1回発行 11月中旬 525円

2. 第2740地区ガバナー 田口 厚 君

①第19回全国ローターアクト研修会仮登録のご案内

日時/平成19年2月24日(土)～25日(日)

会場/研 修…石川県立音楽堂

懇親会…金沢全日空ホテル

登録料/ロータリアン 22,000円(宿泊有り)

12,000円(宿泊なし)

②国際青少年交換委員会

今後のオリエンテーションの予定のお知らせ

10月29日 第2回 ウェルサンピア伊万里

12月17日 クリスマス会 雲仙 本多屋

3月25日 第3回 武雄センチュリーホテル
6月 第4回 長崎全日空グラバーヒル

3.佐世保北ロータリークラブ 「クラブ現況と活動報告書」

委員会報告

■世界社会奉仕委員会

委員長 田中丸善弥 君

台南RC訪問の件につきましては、旅行社も参加して本日の例会終了後、スケジュール等説明会を開催します。

■国際青少年計画委員会

委員長 加納洋二郎 君

9月より学校に通いはじめ、早くも友達も出来て、益々語学力も向上してきた様です。本日はジェニファーの歓迎会を行います。会員をはじめ、ホストファミリーの皆さん、そして学校の先生方を含めて約30名が出席予定です。皆さんよろしくお願い致します。

ニコニコボックス

親睦活動委員会 副委員長 有蘭 良太 君

有田RC 酒井田正宏 君

中島会長、富永幹事、お世話になります。山縣パスト会長、いつもアドバイスありがとうございます。

佐世保南RC 圓田 治 君

本日の長崎新聞等でお騒がせしております。ブルーキャブの圓田です。

中島 祥一 会長

本日、午前8時27分、秋篠宮紀子様にお生まれになりました。心よりお慶び申し上げます。

山縣 義道君、梅村 良輔君

有田RC 第46代会長“酒井田正宏”様のご来

訪を歓迎致します。1年間頑張ってください。

佐々木秀也 君

西村会員の卓話に期待してニコニコします。

例会場にて、会員の皆様に秋篠宮紀子様のお誕生を祝してニコニコしていただきました。

ニコニコボックス	本日合計	44,000円
	累計	246,000円

ロータリー3分間情報

雑誌委員会 山下 尚登 君

ロータリーの友9月号の内容をご紹介します。

まず、表紙の縦組は、「青森県十和田湖を水源として、湖の東岸から流れ出し、^{つた}鳶川と合流するまで約14kmの緩急自在の溪流、^{おいらせ}奥入瀬溪流」で、横組は「滋賀県の方が撮られた蟬（おそらくヒグラシ）」です。（詳細は縦組36頁参照）

横組1頁には、RI会長ウィリアム・B. ボイド氏のメッセージが掲載されています。

9月は「新世代のための月間」で、「新世代プログラムはロータリーの未来にとっても大きな価値をもっている」と述べられています。それにちなむ新世代の記事が5頁から13頁まで、またRI指定記事として14頁から21頁まで掲載されています。

21頁には、世界のロータリアンの年齢構成が出ております。日本はというと前頁(20頁)



に出ており、日本の方が世界より高齢なことがわかります。

24頁には米山奨学事業の基礎知識が載っており、民間主導型奨学財団では、2005年度調査で第1位となっております。そして「事業の使命は一貫しています。政治がどうであろうとも、民間外交として世界に平和の種子を播くことです」と結んでいます。

縦組の方にいきますと、2頁目に「世界の水・日本の水」極めて厳しい現実と解決に向けての模索と題しての掲載があります。何故厳しいかという4頁の上段に記述してあるように、11億人が安全な水を飲めない、またそのことによって8秒に1人子どもが亡くなっている、24億人が改善された衛生設備（トイレ）が使えない、更に水資源（降水量）については、日本においても単位面積当たりでは世界平均の2倍だが、1人当たりになると世界平均の5分の1しかない（5頁中・下段）現状があります。

以下は、各地区、各クラブの活動や投稿記事が掲載されています。

2740地区のクラブの記事を拾ってみると、14頁には、ハウステンボス佐世保の松尾みちこ氏の俳句が、19頁には、平戸RCの佐野勇氏の「ロータリーの医療援助」という投稿が、22頁には、大村北RCの南野健氏の「医師が病気になったとき」、また29頁には、松浦RCの「客を迎える前に」が掲載されています。

委員会タイム

親睦活動委員会 委員長 高田 俊夫君

歌の時間「美しき天然」合唱



卓 話

『会員増強月間に因んで』

会員増強委員会

委員長 西村正一郎 君



毎年8月はロータリー会員増強月間になっている事はすでにご存知と思います。しかし、いつも会員を増やせ増やせというテーマは聞き飽きた言葉であり、従ってそれを担当する私どもの委員会が一番嫌われていると思っています。それだけに、将来の会員数についてあまり深く議論されることもありませんでしたが、曾我プログラム委員長より卓話の命令を受け、役目ながら今日は会員の増強、退会の防止について、掘り下げてみたいと思います。

ロータリーの友の8月号には、クラブを活性化させることが、最大の退会防止になることで、様々なアイデアを出しているクラブの紹介もあっております。

さて、2006年国際協議会の講演の中にこういう一説があります。

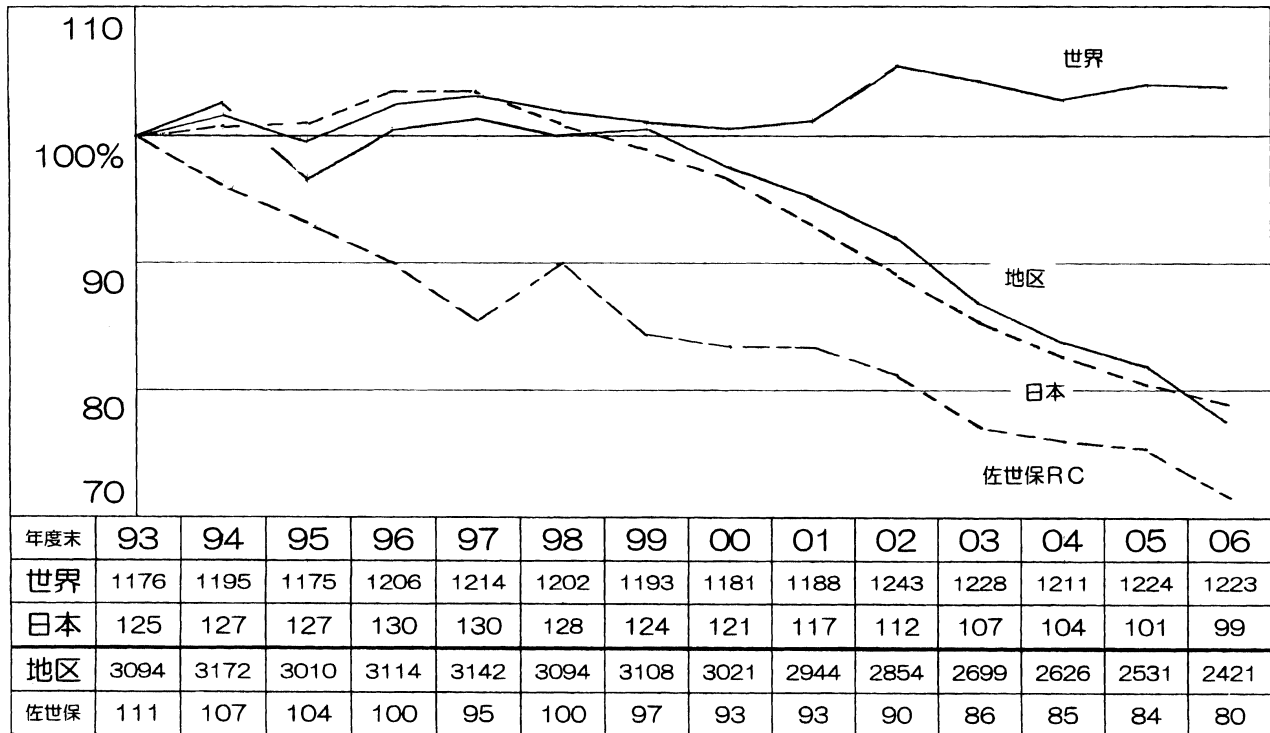
それは、ポールハリスの言葉です。

「ロータリーとは回顧主義の組織ではありません。過去の業績ではなく、むしろ将来の活動にその価値と目的をおいているのです。同じ事を繰り返しているだけではクラブで今までとは違う結果を残すことは到底出来ません。」と言っています。また、会員増強及び退会防止には、クラブを効率的に運営する「クラブリーダーシッププラン」が最も有効であり、会員の退会を防ぎ会員維持率を高めるには次のような方法を推奨しています。

- ① クラブの将来計画を作り全会員に理解してもらおう。
- ② クラブを計画的に進めることのできるリーダーが必要です。
- ③ 会員の知識を深めることも退会防止につながります。(3分間スピーチ)

さらにRIの会員増強部が行った調査では、退会の主な理由は「クラブの指導力の弱さと、クラブ運営に対する不満」と報告されています。

1. 会員数の推移



* 世界、日本の数字は千人単位になっています。

2. 世界のロータリー会員数ベスト10

(単位：千人)

- ①アメリカ 388 ②日本 104
- ③インド 88 ④ブラジル 51
- ⑤イギリス 49 ⑥韓国 48
- ⑦ドイツ 43 ⑧イタリア 40
- ⑨フランス 33 ⑩スウェーデン 30

【退会理由 (28人)】

- 職場転勤 9人 (32%)
- 病弱・高齢 4人 (14%)
- 定年退職 2人 (7%)
- 死亡 1人 (4%)
- その他 12人 (43%)

* その他12人の退会者

(在籍年数22年～1年 平均15年 退会理由不明)

以下、ロータリーの例会・事業・退会防止について、3名の方に意見をのべてもらいます。

3. 1クラブ当たりの会員数

【06年末】 世界 37.3人
日本(地区共) 42.5人
佐世保 80人

4. 女性会員の推移 (%は対会員数)

	世界	日本
96年末	69,400人 (5.8%)	1,300人 (1.0%)
05年末	150,000人 (12.2%)	3,270人 (3.3%)
増加率	216%	252%

「毎週の例会で感じること」

黒木 政純 君

例会を魅力的にするにはどうすれば良いのでしょうか？

私は、ロータリーについてもっと深く語る例会、自ら参加する例会を提案したいと思います。



5. 佐世保RCの退会者数 (直近3年間)

03～04年 9人
04～05年 8人
05～06年 11人 計28人 (11%)

①「例会の時間はこれでベストか？」

昼の例会の時間は現在のままでやむを得ませんが、夜の例会を月1回くらい設けること

はできませんか。

②「席順や会場のレイアウトを変えられますか？」

毎回席を指定するなり、ときどきテーブルのレイアウトを変更するなり、席順が変わるような工夫が必要ではないでしょうか。

③「クラブの奉仕活動や行事に関して例会の中で話し合う時間をもっと設けてほしい。」

新人から見れば、多くのことが理事会や役員の間で決定しているように感じます。もっと我々にも問題を投げかけて討論し、クラブの意思決定に参加しているという実感が得られる機会を作っていただきたい。

④「例会の中でロータリーに関して小グループで討論してはどうか？」

5分か10分間そのテーブル単位で先輩のロータリアンとロータリーに関するあるテーマについて討論する時間を設けて、フリートークしてみてもいかがでしょうか？

⑤「卓話のプログラムをもっと充実したものにお願いしたい。」

早退者の防止策には、何よりも卓話の時間の充実が必要です。外部からの講演になれた卓話者が望ましいのですが、我がクラブの会員にも魅力ある方がたくさんいらっしゃいます。短い時間の中で、その方の一番得意なテーマひとつに絞って、一般の方が驚くような深いお話をしていただくことです。今日の例会に出席して良かったというような魅力的なプログラムをお願いします。一方では、卓話者が見つからない時には、新人の方たち数人にそれぞれ宿題を出して、今日のような討論会を開いてはいかがでしょうか。

⑥なお、現在行われている親睦委員長の歌の時間は一服の清涼剤というところですが、ロータリーソングはなかなかはじめません。

⑦昼食のメニューに関して、私はもっと安いものでも構いませんが、皆さんはいかがでしょうか。

⑧ロータリークラブの適正な会員数は60～80名と言われています。例会が散漫にならない

いという観点だけならば、これ以上増えなくても良いと思います。

以上は私の提案であります。例会を変更していくことに関してはさまざまな意見がありますので、簡単に決められることではなく、bestの方法は無いのかもしれませんが、だからこそ、例会の場で議論ができるような機会を設けていただけるように期待いたします。

「社会奉仕活動について」

玉井 晃君



「退会を防止するためロータリーの魅力を探ろう」とのタイトルで、社会奉仕活動について述べよ、との西村委員長の命ですが、何故私が指名されたのか、良く判りませんが、先輩のご指示ですので、責を全うしたく思います。

昨年、RI2730地区の吉松ガバナーが宮崎ロータリークラブで「社会奉仕」について、次のように述べておられます。『ロータリーは、はじめに親睦・友愛があり、ここから職業奉仕が生まれ、社会奉仕に成長し、それが広がって国際奉仕に貫く思想を「奉仕の理想」と呼ぶようになりました。これから見ましてもロータリーの本質はと問われれば、「親睦の中から奉仕の理想を生み出す団体」であり、また「ロータリーは奉仕する団体ではなく、奉仕する人の集まりである」と答えることが出来ると言われていました』。

ロータリーは親睦と友愛が根っこにある点は、良く理解でき安心もしましたが、そもそも奉仕する方々の集まりといわれると、私などは会員としての資格があったのかなと改めて忸怩たる思いがしております。

過去3年間の一般退会者の退会理由を西村委員長は分析されて、その一つに「社会のために奉仕を実感したいが、そういう事業があまりないのではないかと」ご指摘ですが、

私の実感としては、会員の皆さんは非常に
ご多忙で奉仕に割く時間が無いということ
と思います。

当クラブの最近の社会奉仕活動としては、
ローターアクト・インターアクト、清掃奉仕、
平戸街道看板設置、共同事業としてのジュニア
陸上競技大会支援等ありますが、必ずしも
会員みなさんの積極的なご支援が得られてい
ないのが実態と思います。

奉仕活動を更に推し進め、参加を半義務化
しようとするれば、退会防止策ではなく、退会
者増に繋がるのではないかと懸念します。

奉仕は英語の「SERVICE」を訳したもの
ですが、語源のラテン語では「手を汚す」事
と曾野綾子氏は言っているようです。語源は、
奉仕の理想に奴隷となって働く意味だそう
で、奉仕には行動を伴うものと考えられます。

ロータリーとは全く大変な団体だなーとの
感を深くします。

実は曾野綾子さんが「品位の研究」につ
いて触れておられ、私が非常に感銘を受け
た部分をちょっと紹介し、話を終わりたい
と思います。

品位のその第1

「他人に動かされない信念と勇気」

その第2

「バランスのとれた穏やかさ」

その第3

「人のために損をすることが出来ること」
究極の損は、「死ぬこと」と考えられます
ので、子のため、愛する人のため、そして

その人が住む郷土・国家のために死ぬこと
は、国籍を問わず最も尊い奉仕と私は信じ
ております。

高田 俊夫君



退会の現状については、自然
減が年間3～5名、それ以外（経
済的理由も含め）何らかの理由
によるものと予想されるのが年間3～5名と考
えられ、入会は年間最低でも6～12名を目標
としていく必要があります。

退会防止の為には、30～40歳代の若い人を
入会させることが一番と考えます。若い人を
入会させるには、世間にロータリークラブの
存在をマスコミ、メディアをつかってうまく
アピールし、その仕事、活動内容への社会的
評価を高める、そして、その実現のためどう
いう活動計画を立てて実行していけば良いか
をクラブ全体で考える。

つまり、ロータリークラブがいかに社会に
貢献しているか、またこれから貢献していけ
るかという社会奉仕の活動をさらに充実させ
ていくことが必要ではないかと考えます。

次回例会予告

観月例会 18:30～

(今週の担当 小川 洋)

クラブ会報委員会

委員長	古賀 巖	委員	小川 洋・長富 正博
副委員長	隈元 勝則		松尾 文隆・町 孝